# 受電・母線・フィーダの三相電流・電圧計測に最適

## ■ 特長

- 三相3線、単相、単相3線共用タイプをご用意しています。
  （　）内は計測仕様：三相電流計（最大需要、需要、瞬時）
  三相電圧計（電圧、周波数）
- バーグラフ1計測とデジタル4計測を同時に表示ができます。
- アナログ出力3回路、警報出力1回路が取り出し可能です。（ご指定による）出力要素は設定にて選択ができます。
- 外部操作入力１点にてリセットが可能です。（ご指定による）設定により警報出力、最大/最小値、警報出力と最大/最小値の選択ができます。
- 電源はAC85 ～ 264V、DC80 ～ 143Vで交流直流両用です。
- 従来の110角の機械式メータと取付方法に互換性があります。（取付は対角2点になります）
- バックライト機能を標準装備しています。（バックライト：白色）点灯、消灯、自動消灯の選択および明るさの設定が可能です。

WE1SA　　WE1SV

## ■ 機種・形式・価格（税抜き）・納期

| 品名 | 形式 | 入力回路 | 入力レンジ | 希望小売価格〔円〕 | 納期 |
|---|---|---|---|---|---|
| 三相電流計 | **WE1SA-□F51□-0000** | 三相３線 | 5A | 34,800 | ○ |
| 三相電圧計 | **WE1SV-□FD1□-0000** | 単相<br>単相３線<br>共用 | 150V、300V<br>共用 | 34,800 | ○ |

◎ 標準品　○ 準標準品　受注品

## ■ 形式説明

**WE1S■ – □ F □ 1 □ – □ □ □ □ / □□**
①　②③④⑤⑥　⑦⑧⑨⑩　⑪

①基本形式

| | |
|---|---|
| WE1SA | 三相電流計 |
| WE1SV | 三相電圧計 |

②ハードモデル

| | |
|---|---|
| D | 相表示 R-S-T　和文仕様<br>バックライト白 |
| E | 相表示 R-Y-B　英文仕様<br>バックライト白 |

③入力回路

| | |
|---|---|
| F | 1φ2W、1φ3W、3φ3W共用 |

④入力レンジ

| | |
|---|---|
| 5 | 三相電流計 5A |
| D | 三相電圧計 150V、300V 共用 |

⑤補助電源

| | |
|---|---|
| 1 | AC85～264V、DC80～143V共用 |

⑥取付位置

| | |
|---|---|
| 1 | 上段取付用 |
| 2 | 下段取付用 |

⑦アナログ出力

| | |
|---|---|
| 0 | なし |
| 1 | 4～20mA×3回路 |

⑧接点出力1回路

| | |
|---|---|
| 0 | なし |
| 1 | 警報 1 回路 |

⑨外部操作入力

| | |
|---|---|
| 0 | なし |
| 1 | 1 回路 |

⑩試験成績表

| | |
|---|---|
| 0 | なし |
| J | 和文 |
| E | 英文 |

⑪特殊環境用途

| | |
|---|---|
| 無記入 | なし |
| /NE | 熱帯湿地向 |

注）⑦⑧⑨の組合せ可能なコード記号は「000」、「 111」の２機種のみになります。

## ■ 定格・仕様・計測可能範囲

| | 形式 | | 電流計　WE1SA | | 電圧計　WE1SV | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 定格 | 入力回路／入力 | | 三相３線、<br>単相３線、単相 | AC5A　50/60Hz | 三相３線、単相 | AC110V、220V 共用　50/60Hz |
| | | | | | 単相３線 | AC100-200V[*1]　50/60Hz |
| 仕様 | 計測要素 | | 電流 | | 電圧 | 周波数 |
| | 測定レンジ／表示仕様 | | 最大需要、需要、瞬時、AC5A ～ 30kA | | AC150V ～ 750kV | 45 ～ 55Hz または 55 ～ 65Hz<br>または 45 ～ 65Hz レンジ選択 |
| | 固有誤差[*2] | デジタル表示 | ± 0.5% | | ± 0.5% | ± 0.5% |
| | | アナログ出力[*3] | ± 0.5% | | ± 0.5% | ± 0.5% |
| | 最大計測 | | ○ | | ○ | ○ |
| | 最小計測 | | ○ | | ○ | ○ |
| | バーグラフ表示 | | 主監視要素をバーグラフ表示　　設定で副監視要素表示も可能 | | | |
| | 動作方式 | | 電流：実効値演算方式　　需要電流：熱動形に合わせた演算方式 | | 電圧：実効値演算方式　　周波数：ゼロクロス周期演算方式 | |
| | 時限設定 | 需要電流 | 0 秒 /5 秒 /10 秒 /20 秒 /30 秒 /40 秒 /50 秒 /1 分 /2 分 /3 分 /4 分 /5 分 /6 分 /7 分 /8 分 /9 分 /10 分 /15 分 /20 分 /25 分 /30 分（95%時限） | | ー | |
| | 表示設定可能要素 | 主監視 | 電流（各相）、需要電流（各相）、最大需要電流（各相） | | 電圧（各相及び線間）、周波数 | |
| | | 副監視（左） | 電流（各相） | | 電圧（各相及び線間） | |
| | | 副監視（中央） | 電流（各相）、需要電流（各相）、最大需要電流（各相） | | 電圧（各相及び線間） | |
| | | 副監視（右） | 電流（各相）、需要電流（各相）、最大需要電流（各相） | | 電圧（各相及び線間）、周波数 | |
| | | バーグラフ | 電流（各相）、需要電流（各相）、最大需要電流（各相） | | 電圧（各相及び線間）、周波数 | |
| | オプション | | アナログ出力（3 回路）、警報出力１点、外部操作入力１点 | | | |
| | 備考 | | R-S-T 相切替[*4]<br>測定レンジとは別に表示と出力のレンジ設定可能 | | RS-ST-TR 線間切替[*5] | 入力が電圧レンジの 20%未満の場合 0.0Hz、出力は下限リミッタ値（下限値ー 1%：出力スパンに対する%） |
| 計測可能範囲 | 計測要素 | | 電流 | 需要電流 | 電圧 | 周波数 |
| | 入力 | | AC0 ～ 5A | | AC0 ～ 150V〔AC0 ～ 300V〕[*7] | 45 ～ 55Hz　55 ～ 65Hz<br>45 ～ 65Hz |
| | 計測可能範囲 | 表示 | メータフルスケールの 120%[*6] | メータフルスケールの 200%[*6] | メータフルスケールの 101% | 44.9 ～ 55.1Hz　54.9 ～ 65.1Hz<br>44.8 ～ 65.2Hz |
| | | アナログ出力 | 出力スパンの 120% | 出力スパンの 120% | 出力スパンの 101% | 出力スパンのー 1%、101% |

＊1　各相と N 相の定格電圧は 100V ですが、入力電圧フルスケール 150V 設定時、バーグラフは RN、TN：150V、RT：300V、入力電圧フルスケール 300V 設定時、バーグラフは RN、TN、RT：300V となります。
＊2　動作原理上、次のインバータ出力を直接計測した場合、誤差が大きくなります。サイクル制御、SCR 位相角制御、PWM 制御。
＊3　アナログ出力、警報出力、外部操作入力はオプションです。
＊4　単相３線（R-T-N）：R-T-N、単相３線（R-S-N）：R-S-N、単相３線（S-T-N）：S-T-N、単相：相表示なしとなります。
＊5　単相３線（R-T-N）：RN-TN-RT、単相３線（R-S-N）：RN-SN-RS、単相３線（S-T-N）：SN-TN-ST、単相：線間表示なしとなります。
＊6　計測可能範囲内であっても表示桁数を超える場合、9999（4 桁表示）または 999（3 桁表示）までとなります。
＊7〔 〕は 300V 時の入力となります。